

第35回 企画展

40 御所たらいうどん



3 丸新百貨店



53 相谷温泉



29 大鳴門橋



6 天神まつり



2 徳島駅前



60 小松島港



入場
無料

写真で見る “ちよつと昔”の 阿波の名所

～団塊の世代が若かったころ～

【展示期間】平成20年8月5日(火)～10月26日(日)

【開館時間】午前9時30分～午後5時

【と ころ】徳島県立文書館 2階 展示室

●展示解説 平成20年8月24日(日)・9月13日(土) 午後1時30分～午後3時30分
徳島県立文書館 2階 講座室・展示室

特別写真展

藍商の建築
—50年前の藍屋敷—
上野時生写真展

【展示期間】平成20年9月6日(土)
～15日(月・祝)

入場
無料

【休 館 日】9月8日(月)
【開館時間】午前9時30分～午後5時
【と ころ】徳島県立近代美術館 ギャラリー

「おどる国文祭」1周年記念第11回徳島県民文化祭共催事業



文化の森総合公園 徳島県立文書館
Tokushima Prefectural Archives

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 Tel.088-668-3700/Fax.088-668-7199
●休 館 日/毎週月曜日・毎月第3木曜日(月曜日が祝祭日の時はその翌日)
●開館時間/午前9:30～午後5:00 <http://www.archiv.tokushima-ec.ed.jp>

徳島の風景



58 徳島市民体育館のローラースケート



5 眉山のロープウェイ



4 雨の新町橋通り



7 キャバレーのダンス風景

風物・子供の風景



62 映画館の写真を見る子供



35 牛耕



44 春のお遍路さん



64 フラフープ大流行

「あいさつ」

徳島県立文書館は写真や映像資料も数多く所蔵しています。これまでも明治から昭和にかけての人物写真や徳島の町並み、自然災害など数多くの写真を紹介してまいりました。

今回は所蔵している歴史写真の中から県の観光課の写真を中心に「ちよつと昔」の徳島を紹介いたします。これらの写真から、今、第一線から退きつつある団塊の世代が青春時代を過ごした徳島を振り返ります。また、歴史写真と現在の写真を対比する中で、高度経済成長がもたらしたものは何だったのか、さらにこれからの徳島をどのように展望するのかを考える機会といたします。

会期中、上野時生写真展「藍商の建築—50年前の藍屋敷—」をあわせて開催いたします。上野氏は高松市在住の建築写真家で、県内各地の民家の写真も数多く撮影されています。今回は藍屋敷の写真約150点を厳選し、展示いたします。藍商の隆盛とともに高度経済成長以前の「原風景」を偲ぶことができます。

団塊の世代がお持ちの個人のアルバムに収納された写真も歴史資料として貴重なものとなつてまいりました。当館も県内各地の古い写真を積極的に収集したいと考えておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

この展示の開催にあたり、上野時生氏、木村章氏、郷土出版社、徳島新聞社、徳島県立博物館をはじめ数多くの方々のご協力をいただきました。末尾ながらお礼申し上げます。

平成20年8月5日

徳島県立文書館長

計盛眞一朗

「ちよつと昔」の時代背景

「戦後日本の高度経済成長時代」

今から「ちよつと昔」の昭和30・40年代は、戦後生まれの「団塊の世代」としては、子供から若者へと成長した頃、記憶に残る懐かしい時代。

戦後史から見れば、敗戦の荒廃から立ち上がった日本人が、復興と発展を目指してがむしゃらに頑張った時代。昭和36年（1961）には実質経済成長率14・5%を記録し、昭和39年（1964）東京オリンピックを契機にして世界が驚く高度経済成長を遂げ、昭和43年（1968）には、GNP（国民総生産）が米国につぐ資本主義国第2位となったという「右肩上がり」の成長を遂げた時代です。

この経済成長の中で、日本列島はその姿かたちを大きく変えていきました。民主主義・平和主義が謳われる中、個人主義やマイホーム主義が浸透し、日本人の意識や生活も大きく変わっていきました。物質的な豊かさを獲得した一方で、公害も発生し環境が破壊され、心や精神の荒廃が指摘される深刻な問題も生まれました。

徳島県においてもこの時代、昭和36年（1961）小鳴門橋の建設、昭和39年（1964）新産業都市の指定と臨海工業都市の建設がはじまり、これにともなう橋湾の埋め立てや工場立地、モーターゼーションにともなう津乃峰スカイライン・島田島スカイライン・南阿波サンラインなどの有料自動車道路の建設、祖谷や県南などの観光開発プロジェクトなど活発な経済発展が計画されました。戦後低迷を続ける徳島においても飛躍を目指した模索がはじまり、原風景も大きく変わって行きました。

現在観光課に残された5000枚を超える写真には、阿波の名所を中心とした県内各地の「ちよつと昔」の風景が写し出されています。同じ場所の現状を比較すると変化の大きさに驚かされます。風景の移り変わりの中に、地域の人びとの経済活動や暮らしの移り変わりを知ることができます。意図したものが大きく発展したものもあれば衰退消滅したものもあります。

「温故知新」。皆さんはこの写真から何を読み取りますか？

西阿の風景



37 菊の女王選考会



36 鴨島の江川遊園地



42 スイカの初出荷



41 御所たらいうどんのじんぞくとり



55 剣山登山



49 大歩危峡の遊覧船



47 池田駅の祖谷そば



56 腕山スキー場

鳴門の風景



24 流下式塩田と小鳴門橋



26 小鳴門橋の渡り初め



33 人形師大江巳之助と木偶



28 大鳴門橋建設前の千畳敷

みなみかた

南方の風景



13 明谷の梅林



11 小松島横須海水浴場



15 橘湾の弁天島



19 日和佐薬王寺門前町の賑わい

写真で見る“ちょっと昔”の阿波の名所



大きな獄門と茅葺き屋根の主屋がある代表的な阿波藍商の構え



本瓦葺きの主屋と藍蔵。手前は青石の大井戸。武知邸



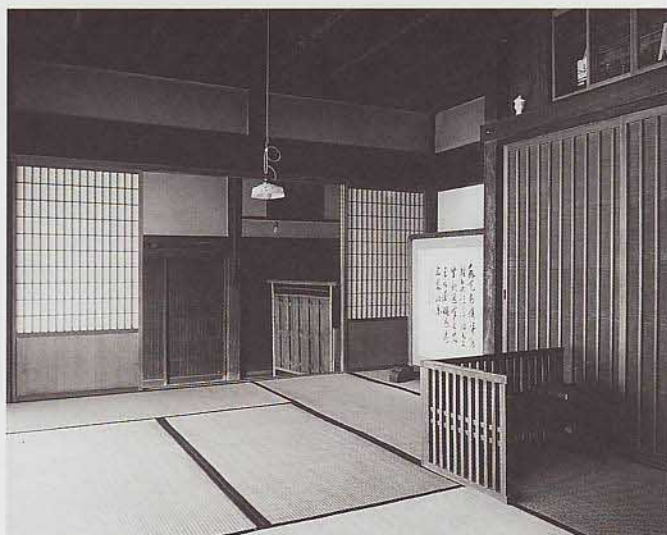
寢床の出入り口にある青石の井側に掛かる、太い柱の獄門。武知邸



土庇の出入口は青石を3段積み重ねた石段になっている。武知邸



茅葺き屋根の主屋と藍蔵。板塀の右奥は立派な庭。盛邸

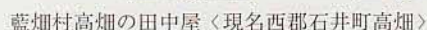


広い帳場。和机を囲んだ檜造りの結果と神棚がある。盛邸

吉野川は日本三大河川の一つで、時折、氾濫しては畑や家屋、住民までも流し去った。地上浸水は悪魔の来襲で人々の恐怖であつた。藍師達は、洪水から家、屋敷、家族を守るために屋敷地の基礎は青石を積み重ねて、家屋の中に水が入るのを防いだ。それでも防ぎ切れない時の為に、周りに練り堀を築き上流から流れてくる流木等から受ける被害を避けた。寢床の梁に避難の時に使う小舟をくくりつける家もあつた。

葉藍は醗酵して「スクモ」という名に変わり、これを藍白で搗いたものが藍玉になる。

間」で、
庄



の間」台所「釜屋」がある。

主屋の東側には、庭があり、

北側に渡り廊下を設けて数奇屋

風の「離れ座敷」を建てている。

敷地の内には藍倉、米倉、道具

倉、漬物倉、木納屋、肥料小屋、

家畜小屋等もあつた。

展示資料一覽

No.	表 題	年 代	旧 蔵 者
徳島			
1	観光バスとガイドさん(徳島市)	*昭和40年代	※1 徳島県観光課
2	駅前タクシー(徳島市)	昭和32年	※2 徳島新聞社
3	丸新百貨店屋上の回転飛行機(徳島市)	昭和30頃	※3 徳島県立博物館
4	雨の新町橋通り(徳島市)	*	※1
5	眉山のロープウェイ(徳島市)	*	※1
6	新町川の天神祭の舟渡御(徳島市)	*	※1
7	キャバレーのダンス風景(徳島市)	*	※1
8	藍染め作業(徳島市)	*	※1
9	阿波しじら織り(徳島市)	*	※1
10	徳島市立動物園	*	※1
南方			
11	横須海水浴場(小松島市)	*	※1
12	北の脇海水浴場(阿南市)	*	※1
13	明谷の梅林(阿南市)	*	※1
14	福村の磯釣り(阿南市)	*	※1
15	橘湾の弁天島(阿南市)	*	※1
16	橘湾の観光船(阿南市)	*	※1
17	南阿波サンライン(美波町・牟岐町)	*	※1
18	日和佐千羽海岸のロープウェイ(美波町)	*	※1
19	日和佐薬王寺門前町の賑わい(美波町)	*	※1
20	日和佐海亀まつり(美波町)	*	※1
21	日和佐八幡神社の秋まつり(美波町)	*	※1
22	平等寺	*	※1
鳴門・板野			
23	わんわん風(鳴門市)	*	※1
24	流下式塩田と小鳴門橋(鳴門市)	*	※1
25	建設中の小鳴門橋(鳴門市)	昭和35年頃	※3
26	小鳴門橋の渡り初め(鳴門市)	昭和36年	※4 郷土出版社
27	鳴門の渦(鳴門市)	*	※1
28	大鳴門橋建設前の千畳敷(鳴門市)	*	※1
29	大鳴門橋の建設風景①(鳴門市)	*	※1
30	大鳴門橋の建設風景②(鳴門市)	昭和59年	※5 木村章
31	鳴門岡崎の水族館	*	※1
32	大麻比古神社参道の松並木(鳴門市)	*	※1
33	人形師大江巳之助と木偶(鳴門市)	*	※1
34	大谷焼(鳴門市)	*	※1
35	牛耕(板野町)	昭和30年代	※1
西阿			
36	鴨島の江川遊園地(吉野川市)	*	※1
37	菊の女王選賞会(吉野川市)	*	※1
38	五九郎まつり(吉野川市)	*	※1
39	熊谷寺のお遍路さん(阿波市)	*	※1
40	小屋がけの御所たらいうどん(阿波市)	*	※1
41	たらいうどんのじんぞく捕り(阿波市)	*	※1
42	スイカの初出荷(吉野川市)	昭和32年	※2
43	半田手延べそうめんづくり(つるぎ町)	*	※1
44	春のお遍路さん	*	※1
45	藍こなし風景	*	※1
46	郡里の蛇の目傘づくり(美馬市)	*	※1
47	池田駅名物祖谷そば(三好市)	*	※1
48	大步危峡と遊覧船(三好市)	*	※1
49	大步危峡の遊覧船(三好市)	*	※1
50	祖谷溪を望む(三好市)	*	※1
51	祖谷溪の小便小僧(三好市)	*	※1
52	阿佐家に伝わる平家の赤旗(三好市)	*	※1
53	掘り当てた祖谷温泉で一風呂(三好市)	昭和41年	※1
54	神代踊り(三好市)	*	※1
55	剣山登山(三好市)	*	※1
56	腕山スキー場(三好市)	*	※1
子供			
57	亥子つきをする子供	昭和33年頃	※4
58	徳島市民体育館のローラースケート(徳島市)	昭和31年	※2
59	鳴門高校の授業風景(鳴門市)	昭和32年	※4
60	集団就職で小松島港を出発する中学生	昭和40年	※4
61	全学連の扮装をする城南高校生(徳島市)	昭和43年	※5
62	映画館の写真を写す子供一見したいなあー	昭和30年代	※4
63	岡崎海水浴場(鳴門市)	昭和31年	※2
64	フラフープ大流行・八多保育所(徳島市)	昭和30年	※4
65	遠足は渡し船に乗って(つるぎ町)	昭和33年	※4
66	雪の日の子供と番傘(美馬市)	昭和30年代	※4
67	ブリキのおもちゃ(徳島市)	昭和32年	※2
68	ヤングマリンの滑り台(徳島市)	*	※1



1 観光バスとガイドさん

備考 ① 展示写真は、現在本館が所蔵している※1徳島県観光課(現 観光企画課)の旧蔵資料を中心とした。
 ② その他は、※2 徳島新聞社・※3 徳島県立博物館・※4 郷土出版社・※5 木村章氏から提供された写真である。
 ③ 写真の撮影年代を記していない※印は、昭和40年代のものである。

印刷

編集・発行 徳島県立文書館
 〒770-8070 徳島市八万町向寺山
 電話 〇八八(六六八)三七〇〇
 ナカガワ・アド(株)
 〒779-1603 徳島県美馬市脇町大字猪尻字高南三三
 電話 〇八八三(五二二)一六四三

特別企画展
 写真で見る
 “ちよつと昔の阿波の名所”
 平成三十年八月五日 発行